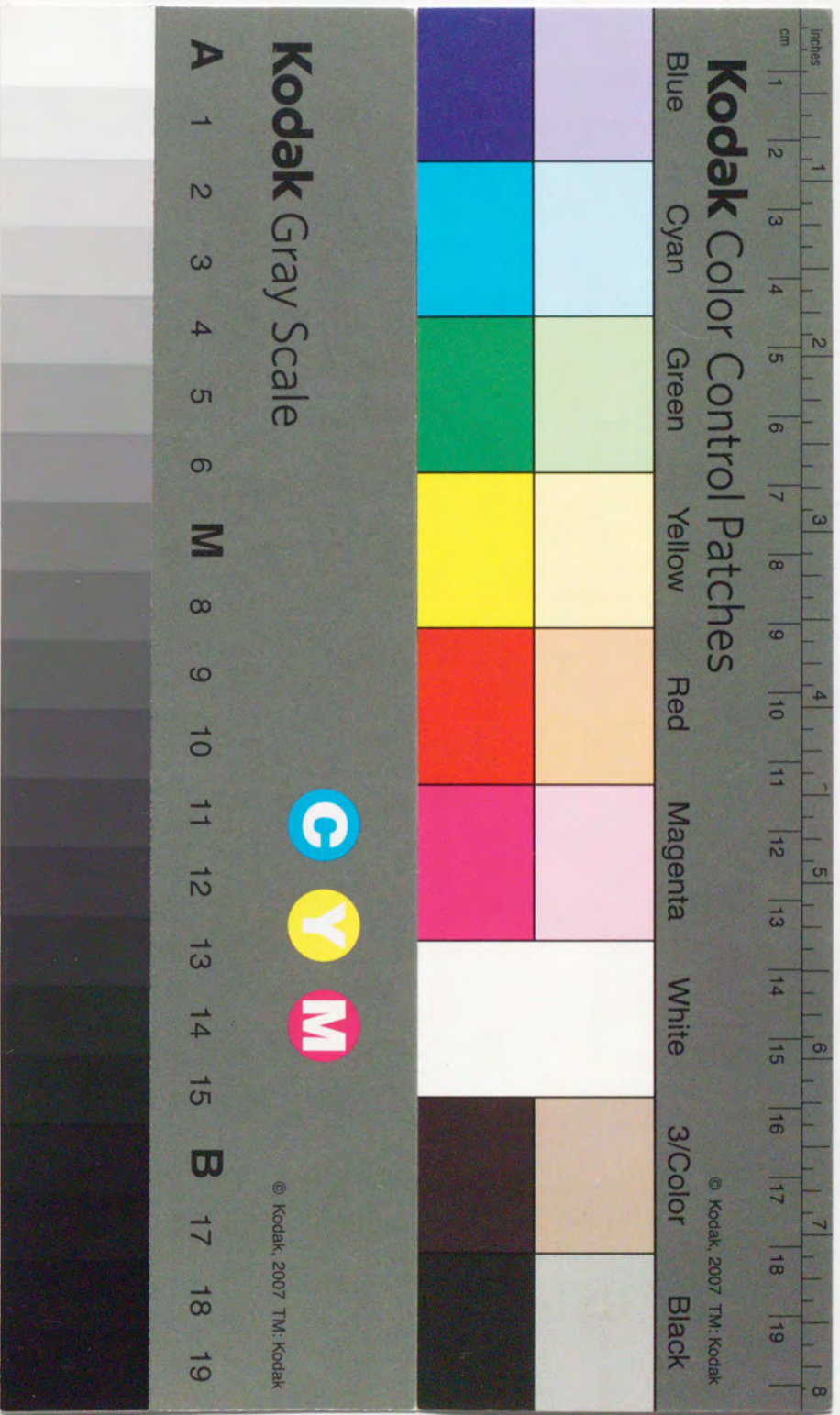
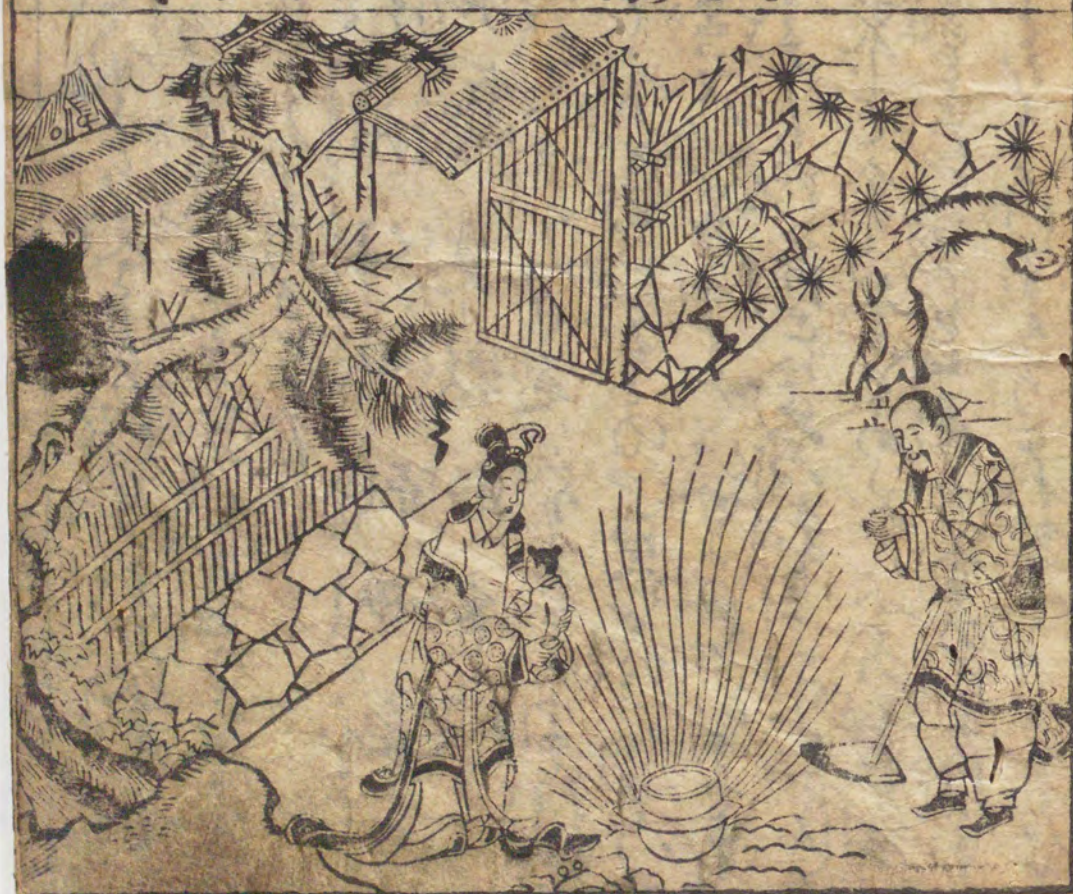




郭巨

郭巨



あはに泪なみだをうばりたるをまゝ下くだりまうりたる程ほどりてゑるに金の釜かまに
うばれぬも天孝子てんこうし 野良のらの女をを棄すてとをえされあはれにいふとてえさ
まゝとまゝとあはれとありあふとてうづらひるとなり

[illegible]

朱子

家乃天長代の人にて其
 父雍引のち僅とありてに
 時百姓の女がしらりきあ
 きて朱妻の母とせし
 これり平年より母と
 ると朱妻の母より歎て
 字の神宗の代は然る所と
 於て其母よりありしか
 ともて其より画と出經と
 夫はよむれい同くほりて
 其のひかりを所ある事す

[illegible]

王祥

親の代の人のいひのよて母
 ようあれう父又書と母を
 朱よといひたり継母あひ
 あれ父よ母とあひひり
 てやとせられも恨をもち
 子よひて老のよとるる
 継母人同と
 王様天下と
 王今と
 地母人よいひといひやと



[illegible]

庾黔婁

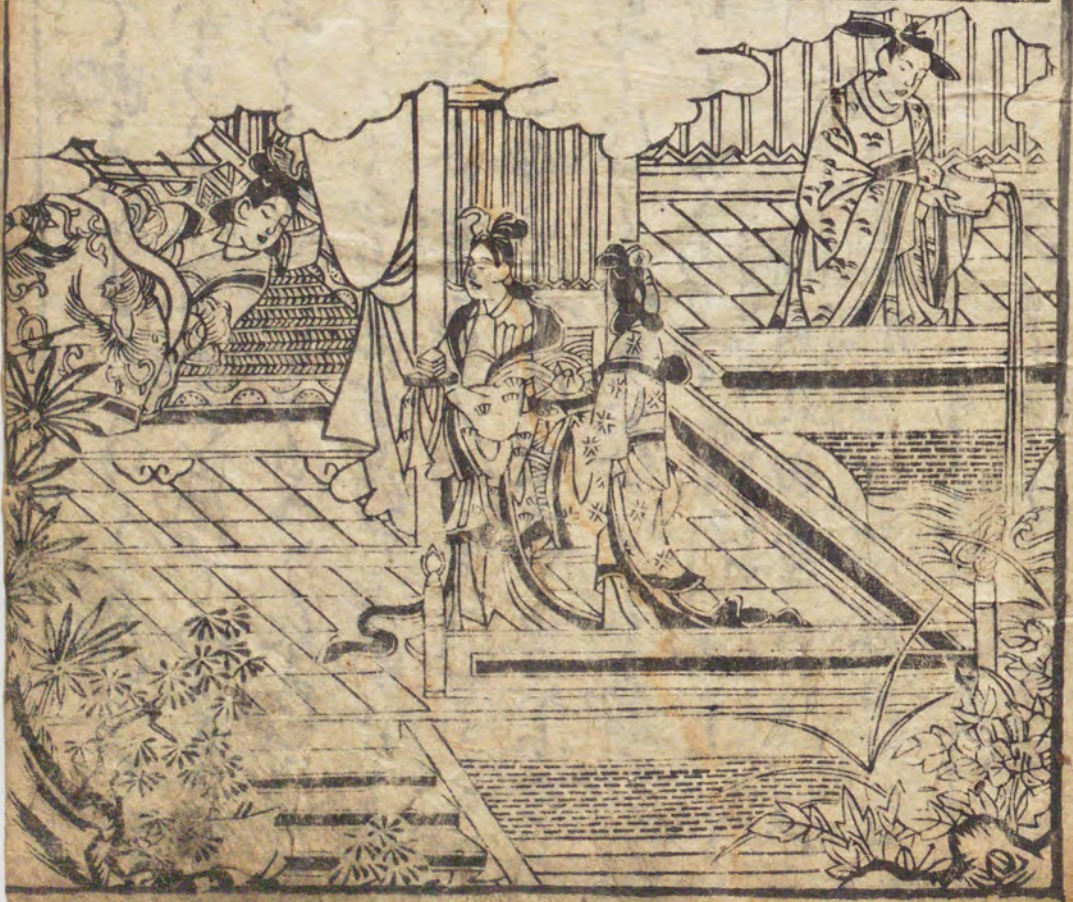
なるが、二十日やとあるが、
 信^{ちか}じあつたれ^{ちか}父^{ちち}の^{ちち}
 ぬす^うを^うあ^うと^うぬ^うれ^う
 あ^うろ^うと^う父^{ちち}の^{ちち}の^{ちち}
 書^う師^しよう^うあ^うと^うひ^うれ^う
 為人^うろ^うと^うあ^うて^うみる^う
 ま^うう^うと^うあ^うと^うあ^うて^う
 ろ^うあ^うて^うあ^うと^うあ^う
 師^うの^うあ^うと^うあ^うて^う



うがは涙とあて父の死せんをうひわすめり
 あわれきるる衣ぬんときせいのりるやの考のあつる
 列縣未旬日様庭遺疾源
 親おれ代死北型無憂心
 縣よりていふ旬日あすの懸事せんまういふていふは
 なたぬと云様庭遺源のあつるをいふていふ父よりをいふ
 かあつるをいふていふていふていふていふていふていふ
 けりくわ身とていふていふていふていふていふていふ
 ぬきんだひあふ型ふ愛やともいふていふていふていふ
 ろりて愛んともいふていふていふていふていふていふ
 ぬきていふていふていふていふていふていふていふ
 母よのあつるや子日孝真大に嚴父と習ふていふていふ

山谷

宋初の人あり詩の東坡
 北中より家毎日に
 きて人あつるやいふ
 一とちり
 貴人天下下
 平生孝事親
 汲泉涌溺愛
 婢妾豈無人
 孝親天下あつるやいふ
 山谷友あつるやいふ
 子日孝真大に嚴父と習ふ



[illegible]

回真回廣田廣
 空人へ兄弟あり父死ては
 財賣とふよりしてあり
 志けい樹てまありれを
 三よりしてふんを云そ我
 罪よりふまふありとて
 口れたあやきありとて
 海底深淵
 群芳總不如
 雲風花滿樹
 兄弟復同
 海底深淵



かつり中^{なかつり}にあらあまう^{あまう}の^の中^{なかつり}へ入^いて^て廣^{ひろ}の^の乳^ちと^とりて^て新^{あらた}の
 種^{たね}ひと^とあら^{あら}を^をあり^{あり}る^るの^の乳^ちと^とりて^て新^{あらた}の^の種^{たね}ひと^とあら^{あら}を^を
 及^{およ}び^びと^とあら^{あら}を^を新^{あらた}の^の種^{たね}ひと^とあら^{あら}を^を及^{およ}び^びと^とあら^{あら}を^を
 と^とあら^{あら}を^を新^{あらた}の^の種^{たね}ひと^とあら^{あら}を^を及^{およ}び^びと^とあら^{あら}を^を
 や^やつ^つ廣^{ひろ}の^の乳^ちと^とりて^て新^{あらた}の^の種^{たね}ひと^とあら^{あら}を^を
 り^りれ^れば^ば新^{あらた}の^の種^{たね}ひと^とあら^{あら}を^を及^{およ}び^びと^とあら^{あら}を^を
 あ^あま^まう^うの^の中^{なかつり}に^にあ^あま^まう^うの^の中^{なかつり}に^にあ^あま^まう^うの^の中^{なかつり}に^に
 あ^あま^まう^うの^の中^{なかつり}に^にあ^あま^まう^うの^の中^{なかつり}に^にあ^あま^まう^うの^の中^{なかつり}に^に
 う^うて^て新^{あらた}の^の種^{たね}ひと^とあら^{あら}を^を及^{およ}び^びと^とあら^{あら}を^を

元禄四年 未 歲六月朔旦

武列江戸川瀬石町
 山口屋權兵衛新刊



元禄四年八月廿二日

元禄四年八月廿二日

